

初開催！ユースカウンスルサミット



皆さんは「ユースカウンスル」という言葉を聞いたことがありますか。

ユースカウンスルは、「若者会議」や「若者議会」といった、若者が主体となって、やりたいことにチャレンジしたり、若者の視点で考え、提言したりする活動を展開している団体のことをいいます。

11月15日に開催された「ユースカウンスルサミット」は、全国の若者団体で構成する全国ユースカウンスル連盟が主体となって企画されたものです。各地で活動する若者やそれを支える大人が互いに学び合い「共通点を見つける場」として、今回が初めての開催となりました。

全体会では、ゲストスピーカーによる話題提供が行われ、その後の企画会では、村の特産品であるサツマイモを模した短冊に、日々の活動で感じていることや内に秘めた想いを書き出し、みんなで共有しました。

ユースカウンスルサミット

<分科会>

- 思いのある行政職員のバトンをどうつなぐのか
 - 子ども・若者政策をどう「評価」するのか
 - 子ども・若者の放課後のあり方を考える
- 全体会の延長戦〜全体テーマについての対話〜



わかもののまちサミット2025 総合司会にチャレンジ！

東海村わかもの会議
小室 彩羽さん



最初は自分に総合司会が務まるのか不安でしたが、本番はそれほど緊張することもなく、楽しく進行することができました。

2日間を通して、全国各地の若者が実践している活動やその想いに触れて、今後の自分たちの活動の参考になりました。また、私たち若者の活動を支えてくれている大人の話も聞くことができ、若者のチャレンジと大人の支援の両方がそろって、はじめてわかもののまちづくりが実現できると実感できました。

この2日間で学んだことを「わかものの居場所づくり」へ向けた活動へ生かしていきます！

東日本で初開催「わかもののまちサミット」

「わかもののまちサミット」は、NPO法人わかもののまちが主催する全国規模のサミットです。若者の社会参画や地域参画を推進するため、若者同士や若者と大人が「つながる場」、お互いの実践や研究から「学び合う場」、自分たちのまちで挑戦を始める「きっかけづくりの場」として、これまで名古屋、京都市、静岡県菊川市、金沢市で開催されてきました。

今回は、東日本で初めてのサミットとして、11月15日・16日の2日間にわたり本村で開催されました。

若者もまちづくりの主役だ！

当日は、全国各地から集まった参加者、約150人が「若者もまちづくりの主役だ！みんなで「わかもののまち」をどう育てる？」をテーマに、全体会と分科会で熱い議論を交わし、多くの刺激や気づきを得る時間となりました。

全体会では、それぞれの地域で実践するパネリストや学識経験者、計4団体による事例発表が行われ、その後、参加者も交えた対話を通して、「こども・わかもの政策」や「若者」について考える貴重な機会となりました。

また、分科会では、「わかもののまちづくりを進める上で欠かせない「思いをつなぐバトン」「評価」「放課後の過ごし方」などをテーマに対話が展開され、若者とまちとの関わり方や、若者もまちづくりの主役として共にまちを創っていく未来を語り合いました。

わかもの会議のメンバーが大活躍

サミットでは、村内在住・在学の高校生、大学生による「東海村わかもの会議」のメンバーもパネリストとして登壇。普段の活動の様子や素直な想い、今後の展望について発表し、全国から集まった参加者から共感を得ていました。

メンバーは総合司会も担当し、多くの参加者を前に堂々と進行役を務めあげました。また、全国各地から集まった参加者と積極的に交流し、ホスト自治体の若者代表として、東海村の魅力をしっかりとアピールしました。

本村のこども・わかもの政策は、土台づくりの段階であり、まだ始まったばかりです。今回のサミット開催を契機として、「わかものがやりたいことにチャレンジできるまち」の実現に向け、一つひとつ着実に推進していきます。